

建設業で働く皆さんへ

建設業安全衛生教育センター

CONSTRUCTION OCCUPATIONAL SAFETY AND
HEALTH EDUCATION CENTER

2019年度 講座ご案内



建設業労働災害防止協会けん さい ぼう ≪略称: 建災防≫

受講のおすすめ

建設業安全衛生教育センターは、労働安全衛生法に基づき事業者が行う安全衛生教育及び企業内で安全衛生教育を担当するスタッフの養成や建設技術者の資質の向上を図る目的で、昭和 59 年より当協会が運営しています。

建設業における労働災害は、事業者・安全衛生スタッフの皆様の熱意と地道な安全衛生活動により、長期的には減少傾向を示しており、平成 28 年には過去最少を記録しました。しかしながら、平成 29 年は死亡災害が再度 300 人を超え、平成 30 年も死亡災害は若干減少しているものの、休業 4 日以上之死傷災害は増加するという、高止まりの状況で推移しています。また、各地で発生している自然災害からの復旧・復興工事や、東京オリンピック関連等々、過密な工事状況が続くと考えられ、さらには技能労働者の高齢化・不足などの問題もあり、労働災害の多発が懸念されます。

このような状況の下、平成 30 年度から「第 13 次労働災害防止計画」がスタートし、これを受け、当協会では新たに「第 8 次建設業労働災害防止 5 カ年計画」を策定し、建設業における安全衛生水準の向上に積極的に取り組んでいます。

さて、労働災害の減少には、リスクアセスメントの継続的な実施が有効な手段であるとの考えから、当教育センターの研修・講座では各教育科目に取り入れて安全衛生教育を実施しております。また、建設企業の労働安全衛生管理を組織的かつ体系的に推進させる『労働安全衛生マネジメントシステム (COHSMS：コスモス) の構築・認定のための講座』、『新たな安全衛生担当を育成する安全衛生管理専門講座』、『安全衛生教育の講師を養成するための講座』、『労働衛生教育の指導者になるための講座』、『国家資格として厚生労働省が定める「ずい道等救護技術管理者研修」』、『米軍基地内の建設工事で必要とされる「現場安全管理者 (SSHO)」や「墜落保護担当責任者 (CP)」の資格取得のための講座』など、建設業に特化した質の高い内容のある研修・講座を行っており、修了者の多くは、事業所や現場等において安全衛生管理の責任者・担当者として、更に、安全衛生教育の講師 (インストラクター)、指導者として活躍しています。

当教育センターでは、受講者の目的に応じた講座や企業の安全衛生教育計画のニーズに合った研修を企画しておりますので、会員の皆様におかれましては企業の発展に欠かせない人材を育成する場として、また、職場外の集合教育 (OFF-JT) の場としてご利用いただきたくご案内申し上げます。

なお、建設業安全衛生教育センターで開催する研修講座は、継続学習制度 (CPDS) 認定講習会として登録 (一部を除く) いたしております。

ご不明な点につきましては、お気軽にご連絡下さるようお願い申し上げます。

建設業労働災害防止協会

＊＝ 講 座 一 覧 ＝＊

講 座 名	開催 回数	募集 人員	掲載 頁	研修 期間	研修費用内訳			合計
					受講料	食事代	消費税	
＊建設業労働安全衛生マネジメントシステム 研修講座（略称：COHSMS 講座）								
（1）構築・認定担当者研修講座	3 回	30 名	3 頁	2泊3日	75,000	6,600	6,528	88,128
（2）内部システム監査担当者研修講座	6 回	30 名	3 頁	2泊3日	75,000	6,600	6,528	88,128
＊職長・安全衛生責任者教育講師養成講座								
（1）新 CFT 講座	21 回	30 名	4 頁	3泊4日	85,000	9,400	7,552	101,952
（2）新 CFT 講座（低層住宅従事者対応： 旧 SMT 講座）	3 回	30 名	4 頁	3泊4日	85,000	9,400	7,552	101,952
＊職長・安全衛生責任者教育講師のための リスクアセスメント研修	2 回	40 名	5 頁	1泊2日	25,000	2,800	2,224	30,024
＊建設技術者安全衛生管理講座								
（1）所長コース	5 回	40 名	5 頁	2泊3日	85,000	5,600	7,248	97,848
（2）工事主任コース	4 回	40 名	6 頁	2泊3日	75,000	5,600	6,448	87,048
（3）SSHO 資格認定講座（出張講座）								
（3-1）工事主任コース								
沖縄 3 回、厚木 2 回、 横須賀、広島、佐世保各 1 回	8 回	30 名	6 頁	3日	厚木・横須賀 70,000 — 沖縄・広島・佐世保 75,000 —	— —	5,600 6,000	75,600 81,000
（3-2）SSHO リフレッシュコース（5 年再教育講座）								
沖縄 3 回、厚木 2 回、 横須賀、広島、佐世保各 1 回	8 回	30 名	6 頁	1日	厚木・横須賀 35,000 — 沖縄・広島・佐世保 37,500 —	— —	2,800 3,000	37,800 40,500
（4）墜落保護担当責任者（C P）コース								
センター 4 回	4 回	30 名	7 頁	2泊3日	75,000	5,600	6,448	87,048
沖縄 4 回、防府 1 回、佐世保 1 回	6 回	30 名	7 頁	3日	75,000	—	6,000	81,000
＊労働安全衛生関係法令講座	2 回	40 名	7 頁	3泊4日	85,000	8,400	7,472	100,872
＊建設業安全衛生管理専門講座 総合工事業者店社安全衛生スタッフコース	6 回	40 名	8 頁	3泊4日	83,000	8,400	7,312	98,712
＊ずい道等救護技術管理者研修	14 回	15 名	9 頁	4泊5日	146,000	11,200	12,576	169,776
＊建設技術者安全衛生講座 （工事計画参画者コース）								
（1）鋼橋架設工事コース	1 回	40 名	10 頁	4泊5日	76,000	11,200	6,976	94,176
（2）地山の掘削工事コース	※	40 名	10 頁	4泊5日	76,000	11,200	6,976	94,176
（3）ビル建築工事コース	※	40 名	10 頁	4泊5日	76,000	11,200	6,976	94,176
（4）圧気工事コース	※	40 名	10 頁	4泊5日	76,000	11,200	6,976	94,176
（5）P C 橋架設工事コース	※	40 名	10 頁	4泊5日	76,000	11,200	6,976	94,176
（6）トンネル工事コース （山岳、推進、シールド）	※	40 名	10 頁	4泊5日	76,000	11,200	6,976	94,176
＊再圧室操作業務従事者特別教育指導員 （インストラクター）講座	1 回 ☆	30 名	11 頁	2泊3日	72,000	5,600	6,208	83,808
＊建設業労働衛生管理講座 （粉じん対策・インストラクターコース）	※	30 名	11 頁	4泊5日	90,000	11,200	8,096	109,296

- （注） 1. ※の講座は、受講申込者が 10 名以上に達した場合、随時開催いたします。
2. ☆の講座は、隔年開催（次回は 2021 年度）になります。
3. すべての講座で、受講申込者が開催人員に達しない場合は、講座を中止いたします。
4. 消費税について、表記は 8 % 税率を適用していますが、消費税率の改訂があった場合、改訂後の税率により算出した金額を申し受けます。

建設業労働安全衛生マネジメントシステムに関する講座

Construction Occupational Health and Safety Management System (略称：COHSMS)



建設業労働安全衛生マネジメントシステム研修講座 (COHSMS講座)

☆ 2018 年 4 月に制定した改訂 COHSMSガイドラインに対応しています。

(1) COHSMS構築・認定担当者研修講座

この研修講座は、建設企業内に建設業労働安全衛生マネジメントシステム（コスモス：COHSMS）を構築運用する担当者を対象に、コスモス（COHSMS）の考え方・仕組み等について、システムの導入から構築までに必要となる、基本的な知識及びシステムの核とも言えるリスクアセスメントを修得することを目的としています。

また、コスモス（COHSMS）認定申請の手続き等についても解説を行います。

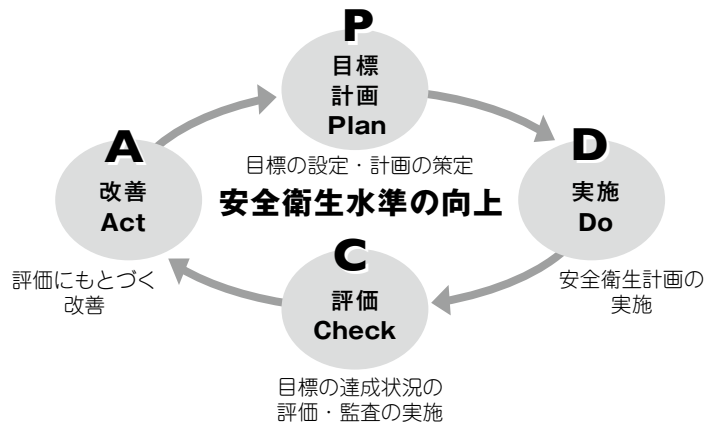
なお、講座の修了者には「COHSMS 構築・認定担当者研修講座」と「リスクアセスメント担当者（建設業）研修」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS：22 ユニット

▶日程（2泊3日）受講料 88,128 円
（食事代、消費税込み）

回数	開催日
第 64 回	2019/ 6/24 ～ 6/26
第 65 回	2019/10/21 ～ 10/23
第 66 回	2020/ 2/12 ～ 2/14

計 3 回



講義内容

- 労働安全衛生マネジメントシステムの概要
- コスモス（COHSMS）ガイドラインの解説
- リスクアセスメント手法（演習を含む）
- システム構築の手順と留意事項
- システム監査の留意事項
- システムマニュアルとその解説
- 明文化の手順と留意事項
- コスモス（COHSMS）認定申請の手続き等

(2) COHSMS内部システム監査担当者研修講座

この研修講座は、建設企業が構築したシステムの実施及び運用状況の監査を担当する、安全衛生管理部門の管理者及び担当者を対象に、システム監査に必要な監査手法に関する基礎知識などを修得することにより、企業内の「内部システム監査担当者」を養成することを目的としています。

なお、講座の修了者には「COHSMS 内部システム監査担当者研修講座」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS：2 ユニット

▶日程（2泊3日）受講料 88,128 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第 61 回	2019/ 5/27 ～ 5/29	第 62 回	2019/ 7/16 ～ 7/18
第 63 回	2019/ 9/17 ～ 9/19	第 64 回	2019/11/ 6 ～ 11/ 8
第 65 回	2020/ 1/29 ～ 1/31	第 66 回	2020/ 3/ 9 ～ 3/11

計 6 回

講義内容

- システム監査の心構え
- システム監査の目的、監査体制の概要
- コスモス（COHSMS）ガイドラインの特徴
- システム監査の手順と留意事項
- システム監査計画（演習）

安全衛生教育の講師になるための講座



職長・安全衛生責任者教育講師養成講座(Construction Foreman Trainer)

(1) 新 CFT 講座

この講座は、建設業における専門工事業者が、関係請負人として工事を担当する時に選任される、職長及び安全衛生責任者が行う職務として、統括安全衛生責任者や他の請負人との作業間の連絡調整、労働者に対する指導・監督の方法、作業場所の保守管理、リスクアセスメント等を的確に遂行することができるように、職長及び安全衛生責任者教育を担当する講師を養成することを目的としています。

なお、標記講座の修了者には「職長・安全衛生責任者教育」の講師資格を証する修了証を交付します。

さらに、旧 SMT 講座は、2018 年度より、新 CFT 講座に組み込まれました。

なお、「低層住宅のための職長教育講師養成講座（SMT 講座）」は、2018 年度より「新 CFT 講座」に組み込み、低層住宅従事者対応（旧 SMT 講座）となっています。

※ CPDS：37 ユニット

講義内容

- 安全衛生責任者の職務等
- 職長及びトレーナーの役割と教育の進め方
- 統括安全衛生管理の進め方
- 労働者に対する指導・監督の方法
- 災害事例研究（班別討議）
- 作業設備及び作業場所の保守管理
- 教育技法、役割演技
- 異常時における措置
- リスクアセスメント（演習を含む）

▶日程（3泊4日）受講料 101,952 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日	回数	開催日
第 341 回	2019/ 4/15 ～ 4/18	第 342 回	2019/ 5/ 7 ～ 5/10	第 343 回	2019/ 5/20 ～ 5/23
第 344 回	2019/ 6/ 4 ～ 6/ 7	第 345 回	2019/ 6/10 ～ 6/13	第 346 回	2019/ 6/17 ～ 6/20
第 347 回	2019/ 7/ 8 ～ 7/11	第 348 回	2019/ 7/22 ～ 7/25	第 349 回	2019/ 8/ 5 ～ 8/ 8
第 350 回	2019/ 8/26 ～ 8/29	第 351 回	2019/ 9/ 9 ～ 9/12	第 352 回	2019/10/ 1 ～10/ 4
第 353 回	2019/10/ 7 ～10/10	第 354 回	2019/10/15 ～10/18	第 355 回	2019/10/28 ～10/31
第 356 回	2019/11/11 ～11/14	第 357 回	2019/11/25 ～11/28	第 358 回	2019/12/ 9 ～12/12
第 359 回	2020/ 1/20 ～ 1/23	第 360 回	2020/ 1/27 ～ 1/30	第 361 回	2020/ 2/ 3 ～ 2/ 6
第 362 回	2020/ 2/17 ～ 2/20	第 363 回	2020/ 3/ 2 ～ 3/ 5	第 364 回	2020/ 3/16 ～ 3/19

計 24 回

※ 網掛けの第 345 回・第 353 回・第 360 回につきましては、低層住宅従事者対応：旧 SMT 講座となっております。

(2) 新 CFT 講座(低層住宅従事者対応：旧 SMT 講座)

▶日程（3泊4日）受講料 101,952 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日	回数	開催日
第 345 回	2019/6/10 ～ 6/13	第 353 回	2019/10/7 ～10/10	第 360 回	2020/1/27 ～ 1/30

計 3 回

※ 「低層住宅のための職長教育講師養成講座（SMT 講座）」は、平成 30 年度より職長・安全衛生責任者教育講師養成講座として「新 CFT 講座（低層住宅従事者対応）」としました。



職長・安全衛生責任者教育講師のためのリスクアセスメント研修

この研修は、建設現場に潜在する労働災害発生の芽（リスク）を、事前に排除又は低減させるため、職長・安全衛生責任者教育を担当する講師を対象に、リスクアセスメント（危険性又は有害性等の調査）の実施に必要となる危険性の洗い出し、リスク評価やリスクの低減措置等を、現場の中心的な担い手となっている職長及び安全衛生責任者に教育することができる講師を養成することを目的としています。

なお、講座の修了者には「リスクアセスメント研修」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS：11 ユニット

講義内容

- 作業方法の決定及び労働者の配置
- 労働者に対する指導又は監督の方法
- 危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置
- その他現場監督者として行うべき労働災害防止活動に関すること
- 異常時等における措置
- 安全衛生責任者の職務等
- 統括安全衛生管理の進め方

▶ 日程（1泊2日）受講料 30,024 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第 43 回	2019/ 6/17 ～ 6/18	第 44 回	2019/10/24 ～ 10/25

計 2 回

建設現場の管理技術者のための講座



建設技術者安全衛生管理講座

（1）所長コース

このコースは、建設現場（作業所）等で行う安全衛生管理の具体的な進め方、施工計画の事前審査、最近の施工技術と安全など、高度な安全衛生管理技術について研修を行うとともに、統括安全衛生責任者（現場所長）として、その職務を遂行する上で必要な安全衛生管理の専門知識を修得し、安全衛生管理活動の中心となる指導者を養成することを目的としています。

なお、講座の修了者には「建設技術者安全衛生管理講座（所長コース）」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS：20 ユニット

講義内容

- 最近の安全衛生行政の動向
- 労働安全衛生法及び関係法令の要点
- 労働安全衛生マネジメントシステムについて
- 施工計画の事前審査について
- 安全施工サイクルの推進（演習を含む）
- 災害事例研究（班別討議）

▶ 日程（2泊3日）受講料 97,848 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第 110 回	2019/ 5/ 8 ～ 5/10	第 111 回	2019/ 7/23 ～ 7/25
第 112 回	2019/ 9/ 3 ～ 9/ 5	第 113 回	2019/11/ 6 ～ 11/ 8
第 114 回	2020/ 2/12 ～ 2/14		

計 5 回

(2) 工事主任コース

このコースは、建設現場（作業所）における安全衛生管理の基礎的な知識・技術、安全衛生に関する規程、基準などについて研修するとともに、現場の若手技術者（工事主任）として、その職務を遂行する上で必要となる安全衛生管理全般に関する知識を修得し、現場の管理監督者を養成することを目的としています。

なお、講座の修了者には「建設技術者安全衛生管理講座（工事主任コース）」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS：20 ユニット

講義内容

- 建設業における安全行政と建設行政の動向
- 労働安全衛生法及び関係法令の要点
- 現場における安全管理の現状
- 施工計画と安全確保
- 作業手順と安全施工サイクルによる現場管理
- 異常時・災害発生時における措置
- 労働災害の防止責任と労災補償

▶ 日程（2泊3日）受講料 87,048 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第 165 回	2019/ 6/ 4 ~ 6/ 6	第 169 回	2019/ 9/17 ~ 9/19
第 171 回	2019/11/18 ~ 11/20	第 174 回	2020/ 2/25 ~ 2/27

計 4 回

※ 所長コース及び工事主任コースは、SSH0資格認定講座に対応しています。

(3) SSHO(現場安全衛生担当責任者) 資格認定講座(出張講座)

米軍基地内で建設工事を行う場合には、米国陸軍安全衛生規程（EM385-1-1）で「現場安全衛生担当責任者：SSH0」を常駐させることを義務づけてます。この資格を取得するためには、当教育センターが実施している建設技術者安全衛生管理講座「工事主任コース」又は「所長コース」の講習を修了することが必要です。なお、SSH0 資格は「有効期限が5年」とされており、この有効期限を過ぎると資格は失効することから、5年毎に再教育を受ける必要があります。

なお、講座の修了者には、建設技術者安全衛生管理講座「工事主任コース」又は「SSH0 リフレッシュコース（5年再教育講座）」を修了したことを証する、英文の修了証を交付します。

(3-1) 工事主任コース

本コースは、上記（2）の工事主任コースと同内容です。

※ CPDS：20 ユニット

▶ 日程（3日間）受講料 75,600 円（厚木・横須賀）、81,000 円（岩国・佐世保・沖縄）（消費税込み）

回数	開催日	場所	回数	開催日	場所
第 163 回	2019/ 4/20 ~ 4/22	厚 木	第 164 回	2019/ 5/25 ~ 5/27	沖 縄
第 166 回	2019/ 7/ 4 ~ 7/06	横須賀	第 167 回	2019/ 7/27 ~ 7/29	広 島
第 168 回	2019/ 8/31 ~ 9/02	沖 縄	第 170 回	2019/10/12 ~ 10/14	佐世保
第 172 回	2020/ 1/18 ~ 1/20	厚 木	第 173 回	2020/ 2/15 ~ 2/17	沖 縄

計 8 回

(3-2) SSHOリフレッシュコース(5年再教育講座)

本コースは、SSH0資格の5年再教育講座です。

▶ 日程（1日）受講料 37,800 円（厚木・横須賀）、40,500 円（岩国・佐世保・沖縄）（消費税込み）

回数	開催日	場所	回数	開催日	場所
第 32 回	2019/ 4/20	厚 木	第 33 回	2019/ 5/25	沖 縄
第 34 回	2019/ 7/ 4	横須賀	第 35 回	2019/ 7/27	広 島
第 36 回	2019/ 8/31	沖 縄	第 37 回	2019/10/12	佐世保
第 38 回	2020/ 1/18	厚 木	第 39 回	2020/ 2/15	沖 縄

計 8 回

(4) 墜落保護担当責任者(CP) コース

米軍基地内で建設工事を行う場合には、米国陸軍安全衛生規程(EM385-1-1)で「墜落保護担当責任者：CP」を常駐させることを義務づけております。この資格を取得するためには、当教育センターが実施している建設技術者安全衛生管理講座「墜落保護担当責任者(CP)コース」の講習を修了することが、必要です。

なお、講座の修了者には、建設技術者安全衛生管理講座「墜落保護担当責任者(CP)コース」を修了したことを証する、英文の修了証を交付します。

▶教育センター開催：日程(2泊3日)受講料 87,048 円 (食事代、消費税込み)

回数	開催日	回数	開催日
第 33 回	2019/ 4/24 ~ 4/26	第 37 回	2019/10/16 ~ 10/18
第 40 回	2020/ 1/29 ~ 1/31	第 42 回	2020/ 3/17 ~ 3/19

計 4 回

▶出張講座：日程(3日間)受講料 81,000 円 (沖縄・防府・佐世保) (消費税込み)

回数	開催日	場所	回数	開催日	場所
第 34 回	2019/ 7/10 ~ 7/12	沖 縄	第 35 回	2019/ 9/11 ~ 9/13	防 府
第 36 回	2019/10/ 2 ~ 10/04	沖 縄	第 38 回	2019/11/27 ~ 11/29	佐世保
第 39 回	2019/12/11 ~ 12/13	沖 縄	第 41 回	2020/ 3/ 4 ~ 3/ 6	沖 縄

※ 会場の都合により、日程に変更が生じる場合があります。
詳しくは、ホームページによりご確認ください。

計 6 回

労働安全衛生関係法令を体系的に修得するための講座



労働安全衛生関係法令講座

この講座は、建設業の店社(本社・支店)及び建設現場の安全衛生管理担当者を対象に、関係法令の専門家から最近の労働安全衛生行政の動向、法体系用語の解説、労働安全衛生法を始め関係規則等の改正などについて、また、弁護士からは判例を基にした具体的な事例や法的責任と安全配慮義務等の解説から法律の適用まで、建設業の労働安全衛生に係わる関係法令について体系的に研修するとともに、法的な考え方の理解を深めることを目的としています。

なお、講座の修了者には「労働安全衛生関係法令講座」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS : 27 ユニット

▶日程(3泊4日)受講料 100,872 円 (食事代、消費税込み)

回数	開催日
第 33 回	2019/ 7/ 8 ~ 7/11
第 34 回	2019/11/18 ~ 11/21

計 2 回

講義内容

- 労働安全衛生法及び関係規則等の解説
- 最近の労働安全衛生行政の動向
- 法的責任と安全配慮義務等の解説(弁護士)
- 事例研究(班別討議)
- 法令用語等の解説



店社安全衛生スタッフ等のための講座



建設業安全衛生管理専門講座(総合工事業者店社安全衛生スタッフコース)

このコースは、総合工事業者の店社（本社・支店）が実施する安全衛生管理方針、管理目標の樹立、管理計画の作成からその実践・評価に至るまで、安全衛生管理の重要事項について具体的・体系的に研修し、店社の安全衛生スタッフとしてその職務を遂行する上で必要な安全衛生管理に関する専門知識を修得し、総合的な安全衛生管理活動が展開できる指導者を養成することを目的としています。

なお、講座の修了者には、「総合工事業者店社安全衛生スタッフコース」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS：31 ユニット

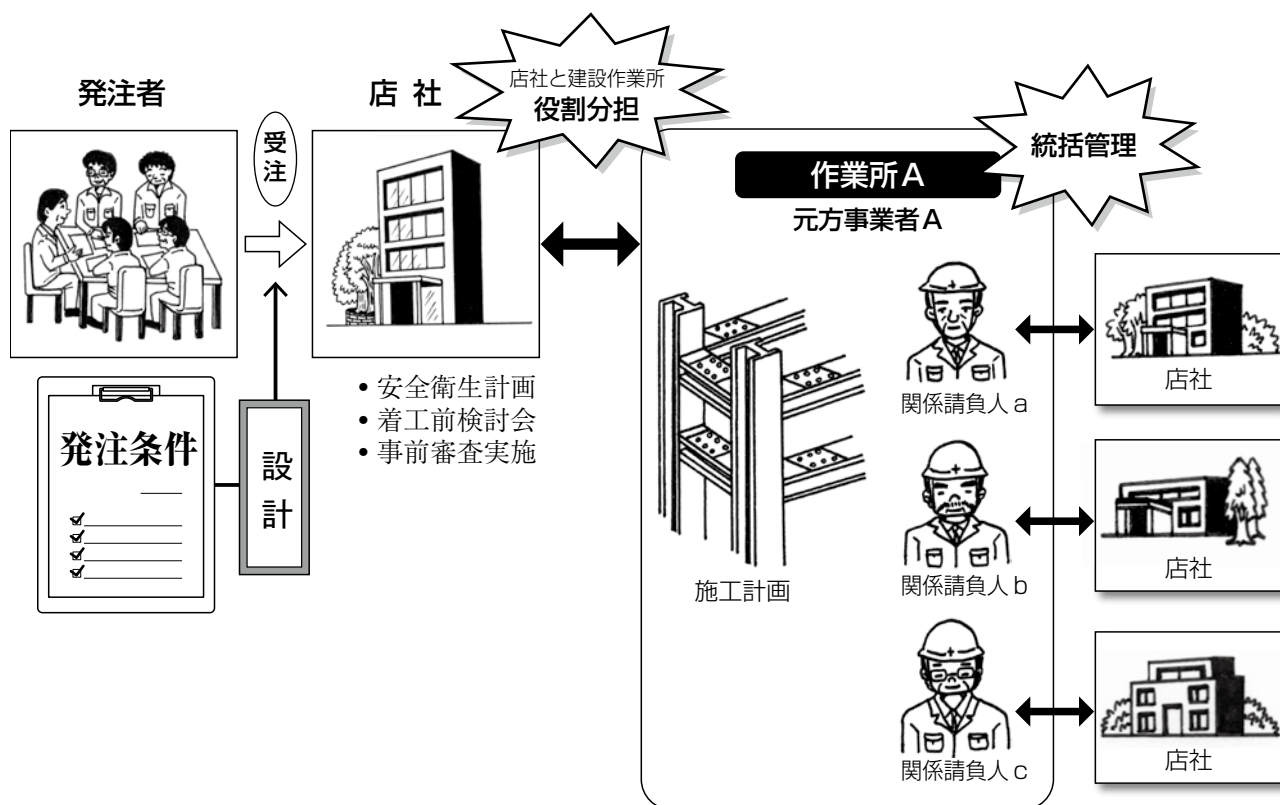
講義内容

- 建設業の安全衛生
- 労働安全衛生法及び関係法令
- 安全衛生管理体制について
- 労働災害補償の知識
- 安全衛生管理計画（演習を含む）
- 安全施工サイクルの推進
- 災害発生時の調査及び事例研究
- 安全衛生教育の進め方
- 効果的な安全衛生パトロールの方法
- リスクアセスメント（演習を含む）

▶ 日程（3泊4日）受講料 98,712 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第 254 回	2019/ 5/14 ～ 5/17	第 255 回	2019/ 7/16 ～ 7/19
第 256 回	2019/ 9/ 3 ～ 9/ 6	第 257 回	2019/10/21 ～ 10/24
第 258 回	2019/12/ 3 ～ 12/ 6	第 259 回	2020/ 2/25 ～ 2/28

計 6 回



ずい道等救護技術管理者資格取得のための研修



ずい道等救護技術管理者研修

この研修は、一定規模のずい道等建設工事及び圧気工法による作業を行う工事等において、爆発・火災等の重大災害の発生時における救護活動、安全を確保するための措置のうち技術的事項を管理する者を対象に、管理者としての職務を遂行する上で必要な救護の知識、人工呼吸及びAEDを使用した心肺蘇生法等の一次救命措置、ガス測定機器等の実習、空気及び酸素呼吸器を使用した救護訓練方法等について研修し、ずい道等救護技術管理者を養成することを目的とした厚生労働大臣が定める研修です。

なお、研修の修了者には「ずい道等救護技術管理者」の資格を証する修了証を交付します。

※ CPDS：37 ユニット

講義内容

- ずい道等建設工事の危険性について
- 救護に必要な関係法令の知識
- 救護に必要な機器等についての知識
- 呼吸器取扱いについて（班別討議）

実技訓練

- 一次救命処置及び応急手当の実習（AED[自動体外式除細動器]の取扱いを含む）
- ガス測定機器の取扱い実習
- 空気及び酸素呼吸器の取扱い実習
- トンネル内での呼吸器を着装した救護活動訓練

▶ 日程（4泊5日）研修料 169,776 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第 574 回	2019/ 4/15 ～ 4/19	第 575 回	2019/ 5/13 ～ 5/17
第 576 回	2019/ 5/27 ～ 5/31	第 577 回	2019/ 6/10 ～ 6/14
第 578 回	2019/ 9/ 9 ～ 9/13	第 579 回	2019/10/ 7 ～10/11
第 580 回	2019/10/28 ～11/ 1	第 581 回	2019/11/11 ～11/15
第 582 回	2019/11/25 ～11/29	第 583 回	2019/12/ 9 ～12/13
第 584 回	2020/ 1/20 ～ 1/24	第 585 回	2020/ 2/ 3 ～ 2/ 7
第 586 回	2020/ 2/17 ～ 2/21	第 587 回	2020/ 3/ 2 ～ 3/ 6

計 14 回



模擬トンネル



AED 使用による一次救命処置訓練

※ 研修を受講される方への注意事項

- （注1）呼吸器の装着訓練では、「あごひげ」及び「ほおひげ」を剃っての受講となります。
- （注2）当研修を修了して救護技術管理者を選任する際には、実務経験年数（3年）が必要となります。
- （注3）当研修の受講は、3年以上の実務経験（ずい道等の建設工事の仕事に従事した経験を有する者、または、圧気工法による作業を行う仕事に従事した経験を有する者）の有する方にお勧めいたします。

建設技術者及び工事計画参画者のための安全衛生講座



建設技術者安全衛生講座(工事計画参画者コース)

この講座は、下記に示した各種工事の設計及び工事計画の作成にあたり、工事の安全性に関する技術的事項及び安全を確保するための措置など、工事計画作成時に考慮すべき事項について、その分野の専門家を中心とした講義の他に討議、実習を多く取り入れた研修をするとともに工事計画の参画者、施工担当技術者、作成された工事計画をチェックする者等を対象として、それぞれの立場で職務を遂行する上で必要となる安全衛生管理の知識を修得し、工事計画参画者の養成と資質の向上を目的としています。

また、この講座は、労働安全衛生法第88条で定められている、工事計画参画者の資格要件の内の1つである「安全衛生に関する実務経験3年」を具備する厚生労働大臣が定める講座です。

なお、講座の修了者には「建設技術者安全衛生講座 ○○工事計画参画者コース」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ 「地山の掘削工事コース」及び「ビル建築工事コース」・「圧気工事コース」につきましては、隔年開催となります。次回は、2020年度開催となります。

▶各コース共通 日程(4泊5日) 受講料 94,176円 (食事代、消費税込み) **各1回**

※ CPDS : 38 ユニット

(1) 鋼橋架設工事コース

講義内容

- 鋼橋架設工事のセーフティアセスメント(SA手法)の考え方
- 工事計画の安全衛生に関する知識
- 工事用設備・機械に関する知識
- 災害事例研究(班別討議)

回数	開催日
第37回	2019/ 5/20 ~ 5/24

(2) 地山の掘削工事コース

講義内容

- 地山の掘削工事に必要な工事計画及び安全衛生に関する知識
- 掘削工事用機械に関する知識
- 災害事例研究(班別討議)

(3) ビル建築工事コース

講義内容

- ビル建築工事に必要な工事計画の安全衛生に関する知識
- 工事用設備・機械に関する知識
- 災害事例研究(班別討議)

(4) 圧気工事コース

講義内容

- 圧気工事に必要な工事計画及び安全衛生に関する知識
- 加圧、減圧のタイムテーブル作成(演習)
- 救急再圧管理計画
- 災害事例研究(班別討議)

(5) PC橋架設工事コース

講義内容

- PC橋架設工事のセーフティアセスメント(SA手法)の考え方
- 工事計画の安全衛生に関する知識
- 工事用設備・機械に関する知識
- 災害事例研究(班別討議)

(6) トンネル工事コース

講義内容

- トンネル工事のセーフティアセスメント(SA手法)の考え方
- 工事計画の安全衛生に関する知識
- 工事用設備・機械に関する知識
- 災害事例研究(班別討議)

※ 2019年度の「PC橋架設工事コース」・「トンネル工事コース」は、受講申込者が10名以上に達した場合に、随時開催します。また、「トンネル工事コース」は、山岳トンネル、シールド、推進工事の統合講座ですが、各々のコースの受講申込者が10名以上に達した場合には、単独で開講します。

労働衛生教育の指導者になるための講座



再圧室操作業務従事者特別教育指導員(インストラクター) 講座

この講座は、圧気ケーソン・圧気シールド工事等の圧気作業及び潜水作業における、減圧症等の高気圧障害防止を図るために再圧室操作業務従事者を対象に、その職務を遂行する上で必要な専門知識及び再圧室の操作方法、救急再圧法等について、専門家及び大学教授により研修するとともに、再圧室操作業務に従事する労働者に対して、特別教育を担当する指導員(インストラクター)を養成することを目的としています。

なお、講座の修了者には「再圧室操作業務従事者特別教育」の指導員資格を証する修了証を交付します。

※ CPDS : 19 ユニット

▶ 日程 (2 泊 3 日) 受講料 83,808 円 (食事代、消費税込み)

回数	開催日
第 25 回	2020/ 3/ 9 ~ 3/11

注) 本講座は、隔年で実施しており、次回は 2021 年度の開催を予定しております。

講義内容

- 高気圧障害予防のための知識
- 救急蘇生法の実習
- 再圧室の操作及び実習
- 救急再圧法
- 労働衛生管理の概論
- 労働衛生教育



建設業労働衛生管理講座(粉じん対策・インストラクターコース)

この講座は、ずい道等の地下建設工事に従事する管理者を対象に、粉じん障害防止のために必要な専門知識、粉じん対策に係る計画の策定方法、粉じん濃度等の測定、防じんマスクの管理、教育技法等について、その専門家及び大学教授により研修するとともに、粉じん作業に従事する労働者への特別教育を担当する指導員を養成することを目的としています。

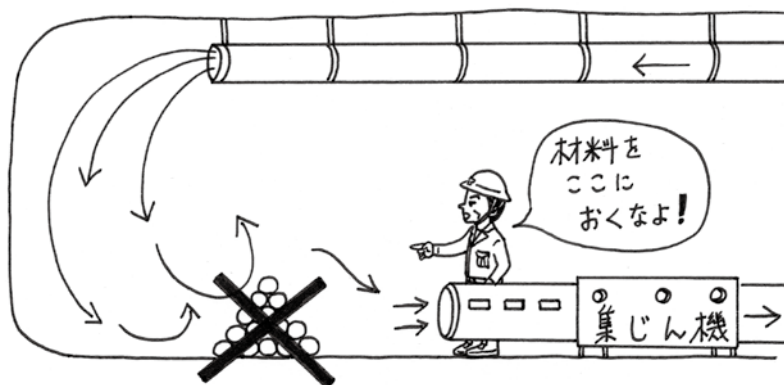
なお、講座の修了者には「建設業粉じん作業特別教育」の指導員資格を証する修了証を交付します。

▶ 日程 (4 泊 5 日) 受講料 109,296 円 (食事代、消費税込み)

注) 本講座は、受講申込者が 10 名以上に達した場合に、随時開催いたします。

講義内容

- 指導員の役割と心構え
- 粉じん障害防止に必要な安全衛生関係法令
- 粉じんによる疾病と健康管理
- 呼吸用保護具の取扱い方法
- 粉じん作業の管理
- 教育技法 (班別討議)
- 測定機器の取扱い実習



建設業安全衛生教育センター

受講申込書

講座名

開催期間

年 月 日 ~ 月 日

教育センター記入欄

受付番号 No.

受講票送付 月 日

- 個人情報保護法により、受講申込書で得た個人情報は、講座運営のために必要な受講者名簿及び名札等の作成以外に使用することはありませんので、正確にご記入ください。

ふりがな			生年月日
受講者名 氏名			(満 歳) S・H 年 月 日
性別(男・女)			
受講者住所 〒			電話
ふりがな			
会社名 (事業所名)	支店		営業所
部署名			
会社所在地 〒			電話
受講票送付先 (Oで囲んで下さい)	① 受講者現住所(本人宛) ② 会社所在地(本人宛) ③ 連絡会社(連絡担当者宛)		

研修合計金額

円

(振込先) 三菱UFJ銀行 田町支店
普通預金 No.4236974
(口座名) 建設業労働災害防止協会

- * 振込の際は「会社名」と「受講者名」を明記して下さい。なお、手数料はご負担願います。
* 貴社の振込予定日、送金元銀行名、支店名をご記入下さい。

振込予定日 月 日 銀行 支店

- * 申込み等に関して教育センターから問合わせ先が、受講者の現住所又は会社所在地と異なる場合は、下記にご記入ください。

連絡会社
所在地 〒

連絡会社名

電話

FAX

連絡担当者

所属部課名

氏名

注意
事項

1. 受講申込用紙は、コピーしてご使用下さい。
(建災防 HPからダウンロードができます。 <http://www.kensaibou.or.jp/>)
2. 受講を希望される講座名、期間等を必ず記入して下さい。
3. 受講申込書は、遅くとも開講日の1カ月前までにFAX又は郵送にてお送り下さい。FAX : 043-486-7341
4. ご不明な点につきましては、建設業安全衛生教育センターまでご連絡下さい。TEL : 043-486-1321

＊受講申込方法

- ☆ 受講申込の前には必ず、電話で空き状況を確認して下さい。
 - ☆ 受講申込は、所定の受講申込書によりお早めにお申し込み下さい。受付は先着順となります。
 - ☆ 受講申込書には必ず、講座名、開催期間等の必要事項を記入し、FAXでお申し込み下さい。
 - ☆ 受講票は申込後、開講日の2ヶ月前から随時送付いたします。
 - ☆ 受講申込後の取消し、受講者の変更等が生じた場合には、必ずFAXでご連絡下さい。
 - ☆ 各講座とも、受講申込者数が当センターの定める基準に達しない場合には、講座を中止することがあります。
- 講座の中止が決定した場合には、直ちに受講申込者に連絡いたします。

＊受講料の支払方法

- ☆ 受講料は前納制となっております。
- ☆ 受講料は、遅くとも開講日の20日前までに下記の指定口座にお振り込み下さい。
- ☆ 振込先 三菱UFJ銀行 田町支店 普通預金口座 No. 4236974
- ☆ 口座名 建設業労働災害防止協会 〒108-0014 東京都港区芝5-35-2 電話 03-3453-8201

＊継続学習制度（CPDS）について

- ☆ 本案内書の2019年度の研修講座は、（一社）全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（CPDS）の学習プログラムに認定登録されています。（一部を除く）
- ☆ 講座（研修）終了後、受講者全員にCPDS学習履歴受講証明書を発行いたします。
- ☆ 継続学習制度（CPDS）の手続き等、詳細については（一社）全国土木施工管理技士会連合会のホームページ（<http://www.ejcm.or.jp/>）をご覧ください。

＊研修にあたって

- ☆ 研修期間中に、遅刻及び途中退席や早退等をした場合には、修了証は発行されませんのでご了承ください。
- ☆ 研修期間中の事故や怪我につきましては、責任を負い兼ねることをご了承下さい。
- ☆ 受講に際しましての録音は、ご遠慮願います。

＊受講取消について

- ☆ 受講取消手数料について
受講申込後の取消については、下表の取消手数料が発生します。
 1. 受講者の変更については、手数料は発生しません。
 2. 出張講座の受講取消手数料等につきましては、当センターまでお問い合わせください。

受講取消及び受講回数変更手数料一覧表

受講取消の場合		受講回数変更の場合	
開講 15 日以上前	無料	1 回目	無料（注）
開講 14 日前～8 日前	10,000 円	2 回目～	10,000 円
開講 7 日前～5 日前	20,000 円	※2 回目以降は、届出日にかかわらず 手数料が発生します。	
開講 4 日前～講座前日	35,000 円		
講座初日	40,000 円		
講座初日（無連絡）	該当する研修費全額		

- ☆ 返金申請について
受講料振込後、開講日の15日以上前に取消をした場合は、全額返金をいたします。
また、返金申請手続きについてのお問い合わせは、当センターまでお願いいたします。
- ☆ 上表中の（注）について
受講回数の変更が初回の場合で、連絡が開講日の6日前迄は、変更手数料が無料です。
それ以降の連絡は、手数料1万円をご請求いたします。

＊修了証のとりまとめについて

- ☆ 過去に当センターで受講された方は、修了証を1枚のカードに4件までとりまとめることができます。
とりまとめを希望される方は、受講当日に、当センター発行の終了証をご持参ください。（コピー等は不可）。
但し、ずい道等救護技術管理者研修、工事計画参画者コースの講座につきましては、単独のカードとなり、まとめることができませんのでご了承下さい。
また、郵送による申請の場合は、有料となりますのでご注意下さい。

交通のご案内

▶京成佐倉駅（北口）下車

- ・東京駅又は上野駅（JR 山手線・京浜東北線）→ **日暮里駅**（京成本線特急）→ **京成佐倉駅**（所要時間 約 1 時間 20 分）
- ・羽田空港駅（京急本線～都営浅草線～京成本線）→ **京成佐倉駅**（所要時間 約 2 時間）
- ・羽田空港駅（モノレール）→ **浜松町駅**（JR 山手線・京浜東北線）→ **日暮里駅**（京成本線特急）→ **京成佐倉駅**（所要時間 約 2 時間）
- ・成田空港 空港第二ビル駅（京成本線特急）→ **京成佐倉駅**（所要時間 約 30 分）

▶「京成佐倉駅北口」から安全衛生教育センターまで約 3 km です。

京成佐倉駅（北口）から安全衛生教育センターまでは、送迎バス（無料）またはタクシー（有料）をご利用下さい。

▶羽田空港を利用される場合は、講座終了後、約 2 時間 30 分、また、成田国際空港を利用される場合は、約 1 時間かかります。

▶「東関東自動車道 佐倉 IC」から安全衛生教育センターまで約 8 km です。（約 20 分）

- ※ 1 京成佐倉駅北口は、改札口を出て右側です。
- ※ 2 送迎バスの運行時間は、受講票にてご確認をお願いします。
- ※ 3 駐車場は完備しております。（但し駐車場内で起こった事故につきましては、責任を負いかねます。）
- ※ 4 **J R 佐倉駅からの送迎バスはございません。**

研修時間等のご案内

1. 研修初日は、開講式が始まる 20 分前までに受付を済ませて下さい。
2. 開講時間、終了時間等は受講票にてご確認をお願いします。

宿泊施設等のご案内

1. 各講座とも合宿室をとっており、当センターの施設での宿泊となります。（全室個室）
 - ※ 講座開催前の前泊は受付していません。
2. 毎朝、ラジオ体操を行っておりますので、軽装でご参加下さい。（T シャツ・短パン・ジャージはご遠慮ください。）
3. 洗面用具（歯ブラシ、歯磨き粉やタオル等）等は、ご持参下さい。
4. 備品設置／部 屋：寝間着・サンダル・時計（アラーム付） 浴 室：シャンプー・リンス・石鹸・ドライヤー
洗濯室：洗濯機・洗剤・乾燥機 ※各宿泊室には、テレビはありません。
5. 全館禁煙（一部喫煙所あり） ※当センターでは、たばこの販売はありません。
6. 宿泊棟の全室で無線 LAN が、使用できます。
7. 食物アレルギーのある方は、事前にお申し出下さい。



宿 泊 室

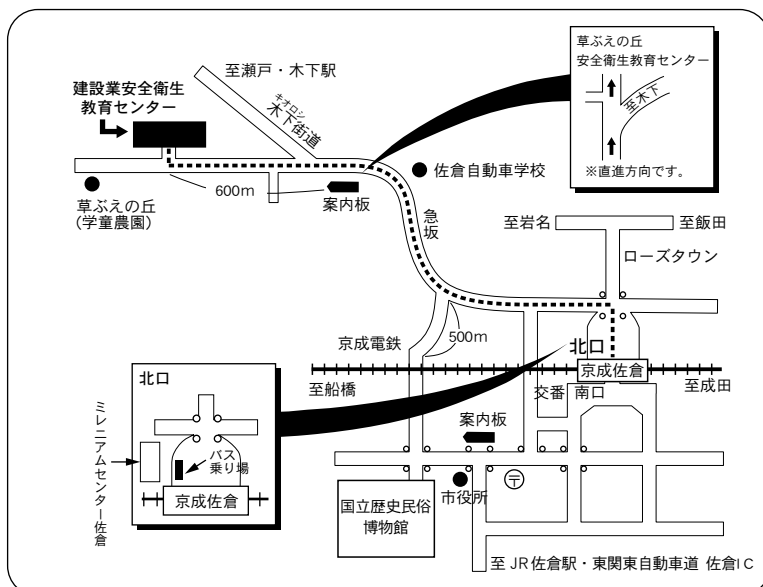


食 堂



談話コーナー

建設業安全衛生教育センター案内図



☆ご不明な点につきましては、
下記の連絡先までお問い合わせください。

建設業安全衛生教育センター

〒 285-0003
千葉県佐倉市飯野 852
TEL 043-486-1321
FAX 043-486-7341

<http://www.kensaibou.or.jp/>

2019年度 建設業安全衛生教育センター 日程表

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
4					土	土	日					土	土	土	← 第574回 ← 第341回 新CFT →	← 第575回 ← 第254回 総合店社 →	土	← 第346回 新CFT →	← 第347回 新CFT →	← 第348回 新CFT →	← 第349回 新CFT →	← 第350回 新CFT →	← 第351回 新CFT →	← 第352回 新CFT →	← 第353回 新CFT →	← 第354回 新CFT →	← 第355回 新CFT →	← 第356回 新CFT →	← 第357回 新CFT →	← 第358回 新CFT →	← 第359回 新CFT →	← 第360回 新CFT →
5			祝	土	日	振	← 第342回 新CFT →	← 第343回 新CFT →	← 第344回 新CFT →	← 第345回 新CFT →	← 第346回 新CFT →	← 第347回 新CFT →	← 第348回 新CFT →	← 第349回 新CFT →	← 第350回 新CFT →	← 第351回 新CFT →	← 第352回 新CFT →	← 第353回 新CFT →	← 第354回 新CFT →	← 第355回 新CFT →	← 第356回 新CFT →	← 第357回 新CFT →	← 第358回 新CFT →	← 第359回 新CFT →	← 第360回 新CFT →	← 第361回 新CFT →	← 第362回 新CFT →	← 第363回 新CFT →	← 第364回 新CFT →	← 第365回 新CFT →	← 第366回 新CFT →	← 第367回 新CFT →
6	土	日			← 第165回 工事主任 →	← 第166回 工事主任 →	← 第167回 工事主任 →	← 第168回 工事主任 →	← 第169回 工事主任 →	← 第170回 工事主任 →	← 第171回 工事主任 →	← 第172回 工事主任 →	← 第173回 工事主任 →	← 第174回 工事主任 →	← 第175回 工事主任 →	← 第176回 工事主任 →	← 第177回 工事主任 →	← 第178回 工事主任 →	← 第179回 工事主任 →	← 第180回 工事主任 →	← 第181回 工事主任 →	← 第182回 工事主任 →	← 第183回 工事主任 →	← 第184回 工事主任 →	← 第185回 工事主任 →	← 第186回 工事主任 →	← 第187回 工事主任 →	← 第188回 工事主任 →	← 第189回 工事主任 →	← 第190回 工事主任 →	← 第191回 工事主任 →	← 第192回 工事主任 →
7					土	日	振	← 第342回 新CFT →	← 第343回 新CFT →	← 第344回 新CFT →	← 第345回 新CFT →	← 第346回 新CFT →	← 第347回 新CFT →	← 第348回 新CFT →	← 第349回 新CFT →	← 第350回 新CFT →	← 第351回 新CFT →	← 第352回 新CFT →	← 第353回 新CFT →	← 第354回 新CFT →	← 第355回 新CFT →	← 第356回 新CFT →	← 第357回 新CFT →	← 第358回 新CFT →	← 第359回 新CFT →	← 第360回 新CFT →	← 第361回 新CFT →	← 第362回 新CFT →	← 第363回 新CFT →	← 第364回 新CFT →	← 第365回 新CFT →	← 第366回 新CFT →
8			土	日	← 第349回 新CFT →	← 第350回 新CFT →	← 第351回 新CFT →	← 第352回 新CFT →	← 第353回 新CFT →	← 第354回 新CFT →	← 第355回 新CFT →	← 第356回 新CFT →	← 第357回 新CFT →	← 第358回 新CFT →	← 第359回 新CFT →	← 第360回 新CFT →	← 第361回 新CFT →	← 第362回 新CFT →	← 第363回 新CFT →	← 第364回 新CFT →	← 第365回 新CFT →	← 第366回 新CFT →	← 第367回 新CFT →	← 第368回 新CFT →	← 第369回 新CFT →	← 第370回 新CFT →	← 第371回 新CFT →	← 第372回 新CFT →	← 第373回 新CFT →	← 第374回 新CFT →	← 第375回 新CFT →	← 第376回 新CFT →
9	日	← 第168回 工事主任 (沖縄) →	← 第169回 工事主任 (沖縄) →	← 第170回 工事主任 (沖縄) →	← 第171回 工事主任 (沖縄) →	← 第172回 工事主任 (沖縄) →	← 第173回 工事主任 (沖縄) →	← 第174回 工事主任 (沖縄) →	← 第175回 工事主任 (沖縄) →	← 第176回 工事主任 (沖縄) →	← 第177回 工事主任 (沖縄) →	← 第178回 工事主任 (沖縄) →	← 第179回 工事主任 (沖縄) →	← 第180回 工事主任 (沖縄) →	← 第181回 工事主任 (沖縄) →	← 第182回 工事主任 (沖縄) →	← 第183回 工事主任 (沖縄) →	← 第184回 工事主任 (沖縄) →	← 第185回 工事主任 (沖縄) →	← 第186回 工事主任 (沖縄) →	← 第187回 工事主任 (沖縄) →	← 第188回 工事主任 (沖縄) →	← 第189回 工事主任 (沖縄) →	← 第190回 工事主任 (沖縄) →	← 第191回 工事主任 (沖縄) →	← 第192回 工事主任 (沖縄) →	← 第193回 工事主任 (沖縄) →	← 第194回 工事主任 (沖縄) →	← 第195回 工事主任 (沖縄) →	← 第196回 工事主任 (沖縄) →	← 第197回 工事主任 (沖縄) →	← 第198回 工事主任 (沖縄) →
10	← 第352回 新CFT →	← 第353回 新CFT →	← 第354回 新CFT →	← 第355回 新CFT →	← 第356回 新CFT →	← 第357回 新CFT →	← 第358回 新CFT →	← 第359回 新CFT →	← 第360回 新CFT →	← 第361回 新CFT →	← 第362回 新CFT →	← 第363回 新CFT →	← 第364回 新CFT →	← 第365回 新CFT →	← 第366回 新CFT →	← 第367回 新CFT →	← 第368回 新CFT →	← 第369回 新CFT →	← 第370回 新CFT →	← 第371回 新CFT →	← 第372回 新CFT →	← 第373回 新CFT →	← 第374回 新CFT →	← 第375回 新CFT →	← 第376回 新CFT →	← 第377回 新CFT →	← 第378回 新CFT →	← 第379回 新CFT →	← 第380回 新CFT →	← 第381回 新CFT →	← 第382回 新CFT →	
11	土	土	日	振	← 第342回 新CFT →	← 第343回 新CFT →	← 第344回 新CFT →	← 第345回 新CFT →	← 第346回 新CFT →	← 第347回 新CFT →	← 第348回 新CFT →	← 第349回 新CFT →	← 第350回 新CFT →	← 第351回 新CFT →	← 第352回 新CFT →	← 第353回 新CFT →	← 第354回 新CFT →	← 第355回 新CFT →	← 第356回 新CFT →	← 第357回 新CFT →	← 第358回 新CFT →	← 第359回 新CFT →	← 第360回 新CFT →	← 第361回 新CFT →	← 第362回 新CFT →	← 第363回 新CFT →	← 第364回 新CFT →	← 第365回 新CFT →	← 第366回 新CFT →	← 第367回 新CFT →	← 第368回 新CFT →	← 第369回 新CFT →
12	日	← 第352回 新CFT →	← 第353回 新CFT →	← 第354回 新CFT →	← 第355回 新CFT →	← 第356回 新CFT →	← 第357回 新CFT →	← 第358回 新CFT →	← 第359回 新CFT →	← 第360回 新CFT →	← 第361回 新CFT →	← 第362回 新CFT →	← 第363回 新CFT →	← 第364回 新CFT →	← 第365回 新CFT →	← 第366回 新CFT →	← 第367回 新CFT →	← 第368回 新CFT →	← 第369回 新CFT →	← 第370回 新CFT →	← 第371回 新CFT →	← 第372回 新CFT →	← 第373回 新CFT →	← 第374回 新CFT →	← 第375回 新CFT →	← 第376回 新CFT →	← 第377回 新CFT →	← 第378回 新CFT →	← 第379回 新CFT →	← 第380回 新CFT →	← 第381回 新CFT →	← 第382回 新CFT →
1	祝	← 第352回 新CFT →	← 第353回 新CFT →	← 第354回 新CFT →	← 第355回 新CFT →	← 第356回 新CFT →	← 第357回 新CFT →	← 第358回 新CFT →	← 第359回 新CFT →	← 第360回 新CFT →	← 第361回 新CFT →	← 第362回 新CFT →	← 第363回 新CFT →	← 第364回 新CFT →	← 第365回 新CFT →	← 第366回 新CFT →	← 第367回 新CFT →	← 第368回 新CFT →	← 第369回 新CFT →	← 第370回 新CFT →	← 第371回 新CFT →	← 第372回 新CFT →	← 第373回 新CFT →	← 第374回 新CFT →	← 第375回 新CFT →	← 第376回 新CFT →	← 第377回 新CFT →	← 第378回 新CFT →	← 第379回 新CFT →	← 第380回 新CFT →	← 第381回 新CFT →	← 第382回 新CFT →
2	土	日	← 第352回 新CFT →	← 第353回 新CFT →	← 第354回 新CFT →	← 第355回 新CFT →	← 第356回 新CFT →	← 第357回 新CFT →	← 第358回 新CFT →	← 第359回 新CFT →	← 第360回 新CFT →	← 第361回 新CFT →	← 第362回 新CFT →	← 第363回 新CFT →	← 第364回 新CFT →	← 第365回 新CFT →	← 第366回 新CFT →	← 第367回 新CFT →	← 第368回 新CFT →	← 第369回 新CFT →	← 第370回 新CFT →	← 第371回 新CFT →	← 第372回 新CFT →	← 第373回 新CFT →	← 第374回 新CFT →	← 第375回 新CFT →	← 第376回 新CFT →	← 第377回 新CFT →	← 第378回 新CFT →	← 第379回 新CFT →	← 第380回 新CFT →	← 第381回 新CFT →
3	日	← 第352回 新CFT →	← 第353回 新CFT →	← 第354回 新CFT →	← 第355回 新CFT →	← 第356回 新CFT →	← 第357回 新CFT →	← 第358回 新CFT →	← 第359回 新CFT →	← 第360回 新CFT →	← 第361回 新CFT →	← 第362回 新CFT →	← 第363回 新CFT →	← 第364回 新CFT →	← 第365回 新CFT →	← 第366回 新CFT →	← 第367回 新CFT →	← 第368回 新CFT →	← 第369回 新CFT →	← 第370回 新CFT →	← 第371回 新CFT →	← 第372回 新CFT →	← 第373回 新CFT →	← 第374回 新CFT →	← 第375回 新CFT →	← 第376回 新CFT →	← 第377回 新CFT →	← 第378回 新CFT →	← 第379回 新CFT →	← 第380回 新CFT →	← 第381回 新CFT →	← 第382回 新CFT →

ずい道	ずい道等救護技術管理者研修	14回
総合店社	総合工事業者店社安全衛生スタッフコース	6回
新CFT	職長・安全衛生責任者教育講師養成講座	21回
新CFT(低層住宅)	職長・安全衛生責任者教育講師養成講座 (低層住宅)	3回
職長リスク	職長・安全衛生責任者教育講師のためのリスクアセスメント研修	2回
構築・認定	COHMS構築・認定担当者研修講座	3回
内部監査者	COHMS内部システム監査担当者研修講座	6回
所 長	所長コース	5回
工事主任	工事主任コース	4回
工事主任	工事主任コース	8回
SSHOLリフレッシュ	SSHOLリフレッシュコース	8回
墜落保護 (CP)	墜落保護担当責任者 (CP) コース	10回

法令	労働安全衛生関係法令講座	2回
再入室	再入室業務従事者特別教育指導員 (インストラクター) 講座	1回
(建設技術者安全衛生講座 工事計画参画者コース)		
ビル建	ビル建築工事コース	※
鋼 橋	鋼橋架設工事コース	1回
地 山	地山の掘削工事コース	※
PC橋	PC橋架設工事コース	※
トンネル	トンネル工事コース	※
圧 気	圧気工事コース	※
粉じん	建設業労働衛生管理講座 (粉じん対策・インストラクターコース)	※

注1) 講座日程に変更が生ずる場合もありますので、ホームページでご確認ください。
注2) ※の講座は、受講申込者が10名以上に達した場合、随時開催いたします。